



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第99号
平成28年6月号

『杭州っ子の 元気パワー 全開!』

日本では、梅雨入りとともにアジサイの開花やホタル初見などのニュースが報道されていますが、6月に入り「杭州っ子の元気パワー全開!」しています。5月7日(土)の授業参観、PTA総会、バス会総会、親睦ランチに多数の保護者の皆様にご参加いただき、本当にありがとうございました。河村豊会長を中心に、「平成28年度杭州日本人学校PTA活動」がいよいよスタートしました。秋の運動会、学習発表会などの重要な学校行事へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

さて、5月12日「第1回水泳教室」を開きました。浙江財経大学のプールをお借りして3回実施できました。子どもたちは「水が冷たい!」「気持ちいい!」などキャーキャー言いながら、プールでの水泳学習を頑張っていました。自分の泳力にあったグループで担当する先生たちと厳しい中にも楽しく泳ぐことができました。3回目には、泳力検定をおこない、泳力を伸ばすことができた喜びで笑顔があふれていました。水着やタオルの準備・洗濯などで保護者の皆様にはたいへんお世話になりました。



今、1年生は「日中友好のアサガオ」を育てています。この種は、中国最後の皇帝：溥儀の弟「溥傑」さんが1961年日本から北京へ移られた時、日本の美しいアサガオの種を自宅の庭に植え、日中友好と平和の願いを込めて育てられたアサガオの子孫にあたります。昨年5月、本校で開催された第17回中国地区日本人学校校長研究協議会で「日中友好のアサガオ」を中国地区で育てたいと決定しました。現在、中国国内13校の日本人学校で育てています。「溥傑・浩」夫妻の日中友好への熱き思いを継承し、将来、子どもたちが「日中友好の懸け橋」になってほしいと願っています。毎朝、かわいいアサガオの花が咲くのを楽しみにしています。



5月25日から27日まで、高鉄(新幹線)を利用して2泊3日の修学旅行(北京方面)を実施しました。6年5名(女子5名)、8年4名(男子2名、女子2名)の合計9名の参加で教職員3名の引率でした。杭州東駅から北京南駅までの往路では、みんなで楽しいおしゃべりとトランプゲームなどで盛り上がり、5時間の旅もあっという間に過ぎてしまいました。1日目は天安門広場、故宮博物院、夜は名物「北京ダック」をおいしくいただきました。2日目は万里の長城(八達嶺)、頤和園、輪タクで胡同めぐり、京劇鑑賞など北京の歴史と文化を学びました。3日目は天壇公園、王府井の見学後、夕食用のパンやカップ麺を購入して北京南駅から高鉄に乗り、杭州に戻りました。3日間の集団行動では思いやりと団結力を身に付けてたくましく成長した姿で帰ってきました。

